

Chilventa 2024 参加報告

一般社団法人日本冷凍空調工業会
総務部兼国際部 朝倉薫

2024年10月8日(火)～10日(木)にドイツ NürnbergMesse にて開催された Chillventa2024 に参加しましたので報告します。

1. 概要

Chillventaは、2年に1度ドイツ ニュルンベルクで開催される大規模な冷凍空調関連の展示会で、伊 Mostra Convegno、独 ISH と並ぶ汎欧州 3 大展示会の1つである。製品カテゴリ毎に 8 つのホールを使用し、今回の来場者は 33,076 名、出展者数は 1010 社/団体となった。

2. 主な出展内容

日系メーカーの展示では、CO₂ 冷凍冷蔵機器や、R290 の大型 A2WHP やチラーの展示、R290 を使用した A2W モノブロックの展示などがあった。欧米メーカーでは商談スペースや冷媒パネル展示のみのブースもあり、実機では、CO₂ を使用した大型産業用システムソリューションの提案や展示がありました。中国・韓国系メーカーでは、R290 を使用した A2WHP やモノブロック HP や、R32 マルチ VRF などが展示されていました。他にも、チラー・ターボ冷凍機・コンデンシングユニットなどの多彩な機器と圧縮機・膨脹弁などの関連機器等が多数展示されていた。

3. ASERCOM+EPEE 主催 Chillventa Symposium にて講演

また、今回 Chillventa 開催の前日に行われた ASERCOM+EPEE 主催の Chillventa Symposium に当会からも岡田哲治専務理事がスピーカーとして参加し、カーボンニュートラルに向けた政策紹介及び産官学連携の取組を説明した。また A2L 冷媒使用時のガイドラインを開発中であり、安全施策を講じた上での使用が重要である旨を説明し、また日系メーカーの VRF の新製品を紹介した。A3 冷媒の検討には全ライフサイクルのリスクアセスメントが必要で、リスク低減に向けた対応の必要性を強調。また NEDO の新冷媒開発状況も説明し、加えて、回収再生の重要性についても強調した。

4. HVAC&R JAPAN2026 の PR ブースを設置

2026年1月27日(火)～1月30日(金)の4日間、東京ビッグサイトで開催予定の HVAC&R JAPAN2026 を広く知っていただくため PR を行った。HVAC&R JAPAN は、通常2ホールを使用していたが、今回は東棟 4・5・6ホールの3ホールに拡大し 900 コマの動員が可能である。最新機器の展示のみならず、セミナーや HVAC アワードなどの併催行事も引き続き開催する予定である。



R290:冷蔵庫や医療用フリーザー、ショーケースなどに使用されている LP ガスを原料とした冷媒
A2W:Air to Water 大気中の熱を集めて温水をつくり出し、住宅に循環させることで暖房するシステム、温水暖房機
モノブロック: 温水暖房機のうち、室外機に制御機器が含まれるシステム
A2L(冷媒):微燃性、低毒性、低地球温暖化係数(GWP)を特徴とした冷媒